

2021 年 7 月 13 日

コマツ産機株式会社
日鉄溶接工業株式会社

「コマツ 鉄骨溶接ロボット (RAL®20 シリーズ)」×「日鉄溶接工業 フラックス入りワイヤ (SX-26、SX-55)」 国内初 鉄骨溶接ロボット型式認証取得

コマツ（社長：小川啓之）の 100%子会社であるコマツ産機株式会社（社長：北出安志 以下「コマツ産機」）と日鉄溶接工業株式会社（社長：妙中隆之）はコマツ製 建築鉄骨溶接ロボット「RAL20」シリーズと日鉄溶接工業製 建築鉄骨・一般構造向け CO₂用 SX ワイヤ「SX-26・SX-55」の組み合わせで、400N/mm²～490N/mm² 級冷間成形角形鋼管と通しダイアフラムの溶接による国内初となるフラックス入りワイヤを適用した建築鉄骨溶接ロボット型式認証を取得しました。

建築鉄骨溶接ロボット型式認証制度は、建築鉄骨ロボットの健全な普及促進を図るため、一般社団法人日本ロボット工業会がロボットの型式（製品機種の溶接基本仕様）に対して、JARAS 1012(WES 8703)「建築鉄骨溶接ロボットの型式認証における試験方法及び判定基準」及び、JARAS 1013(WES 8704)「建築鉄骨溶接ロボットの型式認証基準」に準拠した製品の適合性に関する認証を、建築鉄骨溶接ロボット型式認証委員会が行い、合格したものに与えられる認証制度です。

半自動溶接では、技量資格（JIS や建築鉄骨溶接技量検定など）の取得により溶接部の性能が保証されますが、ロボットでは型式認証が同様の性能保証を示す制度です。型式認証の取得により、安心して様々な施工物件に使用することができるようになります。

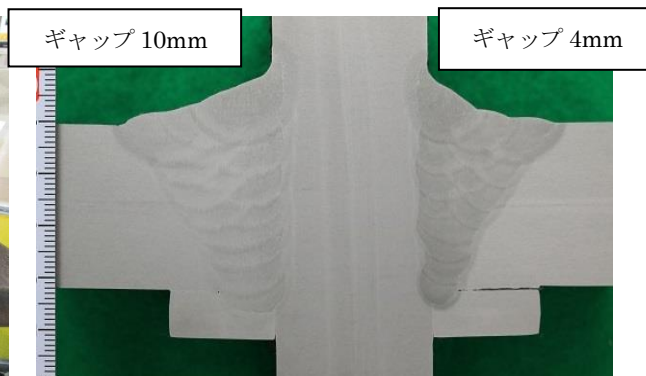
コマツ製「RAL20」シリーズ建築鉄骨溶接ロボットへの日鉄溶接工業製 SX ワイヤ「SX-26・SX-55」の適用により、一般的なワイヤと比べて、鋼板付着スパッタを大幅に低減し、スパッタ除去の作業（時間）を低減することが可能となります。更に、両社の連携により、最適化した溶接条件に調整することで従来よりも安定した溶接品質を確保することが可能となりました。



コマツ製『RAL20』と日鉄溶接工業製『SX ワイヤ』



SX-55 の溶接外観



SX-55 の溶込み形状

コマツ産機は、1987 年に建築鉄骨溶接ロボットを市場導入して以来、常に業界をリードする技術を取り入れてきました。これまで培ってきた技術・ノウハウを投入した高性能鉄骨溶接ロボット『RAL20』シリーズにより、お客様の品質・生産性向上にさらに貢献してまいります。

日鉄溶接工業は、理想の溶接を実現する『WELDREAM®』ブランド商品ラインナップを広げると共に、お客様への積極的な提案に全力で取り組んでまいります。

(お問い合わせ先)

・ロボットに関するお問い合わせ先

〒920-0225 石川県金沢市大野町新町 1 番地 1

コマツ産機株式会社 営業本部 営業管理部 管理グループ

TEL:076-293-4209 FAX:076-293-4354

URL: <http://sanki.komatsu/>

・溶接ワイヤに関するお問い合わせ先

〒135-0016 東京都江東区東陽二丁目 4 番 2 号

日鉄溶接工業株式会社 市場開発技術部 商品技術グループ 担当 齋藤

TEL:03-6388-9125

URL: <https://www.weld.nipponsteel.com/>